

平成 30 年 12 月区政会議部会（概要）

■平成 30 年 12 月 11 日 地域福祉部会

①「具体的取組 4-1-1 地域福祉支援事業」について

〔主な意見〕

- ・コミュニティカフェについて十分理解できていない。
- ・人の話をよく聴く人をコミュニティカフェに配置することも考えないといけない。 等

〔区の考え方〕

- ・コミュニティカフェ等の運営について、上手にコーディネートする人がいるというのが事実です。理想は例えば食事サービスやふれあい喫茶など、元々あるものに幅を広げていくことが一番早いと考えます。
- ・新たな地域福祉の取り組みを進めるにあたっては、市民活動ボランティアセンターとの協働を図り、ご意見にあるような人材の発掘、マッチングが必要と考えます。

②「具体的取組 4-1-2 地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業」について

〔主な意見〕

- ・地域と関わりがない高齢者への対応について苦慮している。
- ・診療所で働いていて、独居の人が亡くなるのが結構あり、予約に来なかったら電話を掛けるが、連絡がつかなかったら後は分からない。地域で見守っていくのが、どういう体制をとった方がいいのか非常に難しい問題だ。 等

〔区の考え方〕

- ・「見守りネットワーク事業」において、個人情報提供の同意をしない方には手立てのしようがないため、何かあってから対応するしかないのが実情です。
- ・病院で、事前に一人暮らしの人とかに同意を取っていただいて、受診に来なく連絡がつかない事があったら区に通報していただくというのは効果があると思います。

③「具体的取組 4-2-1 医療・介護関係機関の連携推進、

具体的取組 4-2-2 区民への地域包括ケアについての普及啓発」について

〔主な意見〕

- ・勤務先の診療所が地域活動協議会に入り、地域との繋がりを持つ中で、色々な事例を紹介されることがある。地域に根ざして一緒にやっていくというのは大事なことだと思う。
- ・在宅での療養について、介護や看護などの研修、勉強会が必要ではないか。 等

〔区の考え方〕

- ・行政・医療・介護の各機関と地域との協働・連携が重要と考えます。さらにそれぞれの取り組みに広がりや生まれるよう、常に連携を意識することを各機関に促してまいります。
- ・在宅療養について、地道に研修等を進めてまいります。

※その他の部会意見

高齢者の事故の補償、介護する人のケア 等

①「具体的取組 3-1-1 子育て支援事業の推進」について

〔主な意見〕

- ・子育てフェスティバルについて、区民アンケートだけではなく、参加者アンケートも実施すべきである。単に人がたくさん来たというだけでなく、実際どういう方が来ているか把握しないとイケないし、直接参加した人の意見は重要である。 等

〔区の考え方〕

- ・業績目標には、区民アンケートを活用していますが、幅広く事業としての評価をいただくための指標と、どういう層がこのイベントに来ていただいて、どういう広がりを出しているのかというところの両方の視点が必要と考えますので、アンケートの実施については今後工夫してまいります。

②「具体的取組 3-2-1 子どもたちの基礎学力や体力の向上」について

〔主な意見〕

- ・基礎学力について、全国一斉テストの結果を把握して取り組んでいく必要がある。
- ・体育用備品の提供について、今年度は相撲マットとまわしだが、嫌がる女の子もいるのではないかな。また、現場が使いやすいような予算の立て方をしていただきたい。 等

〔区の考え方〕

- ・学力テストの結果は、各学校で把握されており、それを踏まえた対応については、学校として取り組んでおられると思いますが、今後、学校と意見交換したいと思います。
- ・相撲については、実際には男子女子で、大きな差が出てくるようなことはないと考えています。予算の執行については、今後、各校長先生の方から色々お聞きして、その都度バランスの取れた形で執行していきたいと思っております。

③「具体的取組 3-2-2 不登校など課題を有する児童生徒に対する支援」について

〔主な意見〕

- ・事業者により、家から出れない子どもの支援と、学習支援と、取組の方向性が変わるとのことだが、両方をお願いできないのか。
- ・あまりテーマを広げず、精神的に病んで引きこもってる子のケアをどうするかということを最優先にすべき。 等

〔区の考え方〕

- ・31 年度については、主に学習面からの支援とコミュニケーション等の心理面からの支援と 2 本の委託事業の実施を予定しています。学校との連携を十分に図りながら、教師への支援、児童生徒とご家庭への支援について、どういう形で区として関わっていいのか引き続き検討したいと考えています。

※その他の部会意見

区政会議部会運営方法の変更、一時保育事業 等

■平成 30 年 12 月 20 日 まちづくり部会

①「戦略 2-1 自助・共助を基本とした災害に強いまちづくり」について

〔主な意見〕

- ・台風 24 号の避難所開設時、マットなどちょっとした設備が無かった。避難所の設備の充実に予算を充てて欲しい。
- ・具体的取組の中に地域への情報伝達や方法の確立みたいなことが、表現として入ったらどうか。

〔区の考え方〕

- ・エアマットについては、少しずつですが、来年度も追加で配備していきます。他に、カセットコンロの配備を検討するなど、できるところから優先順位をつけて取り組んでいきます。
- ・情報伝達については、防災リーダーなどのメールアドレスを事前に教えていただきましたら、連合会長あての FAX と同文を一斉送信することとしております。

②「戦略 1-1 タテ・ヨコ・ナナメでつながるまちづくり」について

〔主な意見〕

- ・地域行事の参加者が少なく、高齢化等もあり運営する側も減っており、苦慮している。
- ・色んな機会を通じて、若い人に直接声掛けをして参加を促している。運営を各団体に任せるなど、できるだけ若い人にやっていただくような方向にしている。
- ・夏祭りの内容を改めたところ若い人の参加が増え、その時に声掛けをしている。若い人の意見を取り寄せて、若い人たちをいかに集めるかということ而努力している。

〔区の考え方〕

- ・地域のイベント情報を発信し、まずは知っていただいて、イベントに参加するところから入ってもらったらどうかと思っておりますので、区としても情報発信に注力していきます。

③「戦略 2-2 犯罪の少ない安全で安心なまちづくり」について

〔主な意見〕

- ・青色防犯パトロールは防犯面のみならず、災害時の情報発信としても有効。現状、1 台を 8 連合で借りているため、区で購入して増やしてもらえないか。
- ・スマホを見ながらなど、自転車のマナーが悪い。自転車の安全な走り方について何か啓発、徹底する方法はないのか。 等

〔区の考え方〕

- ・青パトを購入する場合、購入のコストや駐車場代、車検代等維持費がかかり、大きな予算が必要になってまいりますので、速やかな導入は困難と考えています。
- ・ひたくり防止カバーなど啓発キャンペーンのときに、被害者としての立場だけでなく、場合によっては加害者になることもあるというスタンスの啓発も今後必要と思います。

④その他の部会意見

- ・マスコットキャラクター「コスモちゃん」の着ぐるみ